

<p>目 標</p>	<p>「きまりよく」(躰の教育と生活指導) 「なかよく」(和の教育) 「ありがとう」(感謝の気持ちを育む教育) 創立62年の伝統を踏まえ、教職員一人一人の特性や能力を發揮するとともに宮崎国際大学や宮崎学園短期大学や清武みどり幼稚園をはじめ、家庭や地域等との連携により、これからの社会で必要となる「自立と共生」の基礎づくりとして、一人でも、みんななどでも「明るく元気に遊ぶ子ども」「あいさつのできる子ども」「自然に関心をもつ感性豊かな子ども」の育成を目指し、以下を推進する。 ① 安心して伸び伸びと過ごすことができる教育環境の創出 ② 豊かな感性を育み伸ばす教育環境の創出 ③ 安全に過ごすことができる園内環境の創出</p>					
<p>重点 目 標</p>	<p>(1) 発達段階を踏まえ、一人でも、みんななどでも遊ぶことのできる教育環境の充実 (2) 相手に気持ちが伝わる「あいさつ運動」の推進 (3) 豊かな心を育む教育環境の充実 (4) 健康・安全な教育環境の充実 (5) 地域における幼児教育の拠点となる幼稚園づくり (6) 教職員の資質向上</p>					
<p>実践項目</p>		<p>評価項目</p>			<p>次年度の改善点</p>	
<p>(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人遊びやグループ遊びのバランスを考慮した保育活動を展開する。 園外保育等の体験活動を積極的に取り入れる。 集団の一員としての気持ちを育む当番活動等を推進する。 家庭の協力を得て、家庭でのお手伝いを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「一人でも遊べる」「みんなとも遊べる」5歳児の割合80%以上 	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとにテーマを持ち、メリハリのある保育を展開する。 季節感を肌で感じる五感を育てる。 外遊びや園外保育の充実を図り、異なる環境への適応能力を高める。 発達段階に合わせた、当番活動やお手伝いを推進する。 園バスを利用した園外保育の回数を増やす。 行事の組み方を工夫し、時間に余裕を持たせる工夫をする。 	
<p>(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全園児による登園・降園時の挨拶を推進する。 職員同士や職員と保護者、保護者同士の気持ちの良いあいさつを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> すすんで挨拶するという5歳児割合90%以上 	<p>B</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職員が自ら出迎えて挨拶する。 明るい声で、顔を見て挨拶を交わす。 様々な機会をとらえて、あいさつの大切さを伝える。 感染対策を強化しながら、参観日等を通して、保護者と心を通わせる場を設定する。 担任や学年の職員が、一人ひとりの子どもの様子を伝え、保護者に安心感をもってもらう。 	
<p>(3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人が自分の居場所を実感できる学級づくりをする。 動植物に触れる機会を積極的に導入する。 異年齢交流や祖父母との触れ合い活動等とおして「思いやり」や「ありがとう」の気持ちを育成する。 読書や読み聞かせ、音あそび、ふれあいコンサート等の文化活動を積極的に導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園が楽しいと答える5歳児の割合80%以上 	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「音で遊ぼう」を100%実施し、心の解放とともに友達を思いやる気持ちを育てる。 読み聞かせ活動を適宜行い、相手の気持ちがわかる子どもを育てる。 年間を通して花を育てる活動を展開する。 異年齢保育の場面を計画し、家庭での兄弟関係のように年下の子への思いやりの心を育成する。 園の内外で文化活動に触れる機会を作り、さらに五感を磨く場を設定する。 	
<p>(4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びの充実のための環境設定に配慮する。 外遊びや園外保育を積極的に取り入れ、足腰を鍛える。 場をわきまえたけじめのある行動を推進する。 食に関する指導を推進する。 「安全の日」における防災教育の充実と月1回の安全点検を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> よい姿勢に気をつけていると答える5歳児の割合80%以上 	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集中力を高め、山座りができる時間を伸ばす。 安全点検の充実を図ると同時に、けがを未然に防ぐ身のこなしの良さを身につけさせるために、外遊びを充実させる。 食事をする時の姿勢、足の位置、手の使い方など年齢に即して具体的に指導していく。 避難訓練について確認し、効果的な内容へと改善を図る。 	
<p>(5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 在園児・未就園児の保護者を対象とした子育て相談や、子育て支援を推進する。 園便りや 学年便り・クラス便り、ホームページ等による積極的な情報提供を図る。 保護者と職員、保護者同士の交流の機会の充実。 「認定こども園」の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園からの情報提供内容に対する保護者満足度 80%以上 	<p>B</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報の速やかな発信に心がける。 保護者同士の交流や職員との交流の機会を作り、子育てについて相談しあえる関係づくりを推進する。 認定こども園の運営の在り方などについて具体的に検証し、保育実践に活かす。 新型コロナウイルス感染防止を図りながら、未就園児教室の実施に努める。活動の様子等を共有できるように、情報発信に努める。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 園便りや 学年便り・クラス便り、ホームページ等による積極的な情報提供を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の必要な子どもや保護者に具体的な支援を行う 	<p>B</p>	<p>B</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 預かり保育の内容の充実を図る。 		<p>B</p>	<p>B</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 未就園児幼稚園体験「チャイルドルーム」の充実を図る 		<p>B</p>	<p>B</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 職員のキャリアアップを図る 		<p>A</p>	<p>A</p>		